

あすなろ通信

No. **116**
2021.11.1発行

あすなろ保育園後援会
飯田市育良町3-15-2
TEL (0265)**23-4656**

秋のおまつり



じゃぶじゃぶ音頭

友だちの顔が見えて楽しかったおみこし



あすなろ
は **今**

つくし組 (0歳)	7名
たんぽぽ組 (1歳)	12名
ひまわり組 (2歳)	10名
かっぱ組 (3歳)	4名

7月の終わりに行なっていた夏まつりを、親子みんなでおみこしや縁日風の遊びをゆっくり楽しんでほしいと、今年は暑さがやわらく9月初旬に「秋まつり」として行ないました。

コロナの拡大で親子全員で集うことはできませんでしたが、日中子ども達みんなでお神輿やジャブジャブ音頭などを楽しみ、その様子は写真をたくさん入れたお便りでお家の方に伝えました。

午睡明けにかっぱ組がお面屋さんを開き、お迎えの時には玄関でのミニ縁日コーナーで、水ヨーヨー・紙風船・手作りクッキニを持ち帰り、お家でも秋まつりを楽しんでもらいました。



かっぱ花火「ドッカーン」

まゆの雑記帳

あすなろつこの「今」

4月から半年過ぎた秋の頃は、子どもたちの心と体の成長がさらに伸びる時期。

3歳児クラスでは、散歩の距離がぐっと伸び、その体力に驚かされます。それぞれの発想で遊びが広がるので、毎日いろいろな楽しい物語が生まれています。

2歳児クラスでは、今日から明日へ遊びがつながり、明日を楽しみにワクワクの時間をたくさん共有しています。だからちょっと難しそつでも友達と一緒にたやうたやうと、山登り遠足の下りも一人がお尻をつけてなぎ滑りをしたらみんなが連なり、楽しい遊びに変身！

1歳児クラスでは、自分の思いがぶくぶく、その思いを伝えようとする様々な行動で表します。友達と同じが楽しくなってきた。自分と相手を意識しながら、人との関わりが広がってきています。

0歳児クラスでは、寝返り、這い這い、歩く、と自分の身体を自由に使えるようになり行動範囲が広がっています。自分で動ける喜びは好奇心や意欲を生み、どんどん世界を広げています。たくましく育つ、あすなろつこの「今」！

かっぱ組のちょうちん物語

かっぱ組 3歳児



手で叩いて作っていたけれど、お散歩バック(焼き海苔の空き容器)でくるくるすると作りやすい! 発見がありました。



アサガオのちょうちん

たくさん咲くアサガオが大好きで、摘んできては、いろんな遊びをしました。

紙に挟んで、手で叩いて”叩き押し花”と命名し毎日楽しんでいました。

そんな中、ふと思いつきで作ったアサガオちょうちん。「ちょうど秋祭りもあることだし、これをいっぱい作って飾ったらいいかも! お祭りの雰囲気も感じられるし、自分たちで作った物を飾ることで、よりお祭りが楽しみになるかも!」と、ちょうちん作りをすることにしました。

ひまわり組や給食さんにもプレゼントすると、とても喜ばれ、自分たちで作ったもので誰かが喜んでくれることが嬉しい様子でした。

たんぼ組からも「たんぼぼさん、ちょうちんが気になるみたいで、部屋に飾りたいから作ってくれない?」と注文が入りました。頼まれたことが嬉しくて、「ちょうちん屋さんだね!」と以前よりも張り切って作るようになりました。

お祭り前日に「玄関にもちょうちん飾りたいから作ってくれない?」とまた注文が入ると大張り切り。できあがったちょうちんを、お届けするときには、ちょっと誇ら



自分たちで花を並べてテキパキ作っちゃうよ。

しげでした。

みんなに「かっぱさんのちょうちんすてきだね!」と褒められ、注文をもらったり、「ありがとう。」と喜ばれたりすることで子どもたちも嬉しかったり、得意

気になったりと、楽しいだけでなくいろんなことを感じられたちょうちん物語だったなと思います。



ひまわり組 2歳児

しっぽが
ハチマキも
なっちゃった!?



ハチマキ巻いて、わっしょいピッピ!

ひまわり組では秋祭りで、お祭りの雰囲気や友だちと一緒に楽しむことを感じたいと過ごしてきました。

お祭りといってもどういうものか分りにくいなと思い、イメージが持てるよう「ちいちゃんとおみこし」という絵本を読みました。すると子どもたちから「ハチマキしたい!」という声が出てきました。

どうやったらハチマキができるかなと考え、運動会で見た『しっぽ』をハチマキにしてみるのはどうだろうと子どもたちに提案してみました。「いいよ!」「つける!」と嬉しそうな子どもたち。

秋祭りの前にかっぱ組と一緒にみこ

しを担いで遊ぶときにさっそく巻いてみることにしました。

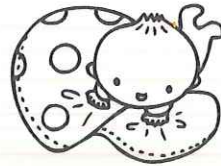
張り切って巻く子や、やっぱりしっぽにしたくてお尻につける子などいましたが、どの子もとても嬉しそうでした。秋



みんな興味津々

祭りまでの間に何度か『しっぽハチマキ』を巻いて遊んでいると、今度は「青がいい」「オレンジがいい」など、どの色の『しっぽハチマキ』がいいかも自分たちで選んで巻くようになっていきました。そして当日も張り切って巻いて秋祭りを楽しみました。

子どもたちの声から巻くことになった『しっぽハチマキ』。それがよりお祭りを楽しめるアイテムになりました。友だちと一緒に雰囲気を感じて楽しめた秋祭りでした。



たんぽぽ組
1歳児
自分のおみこしの飾り



S君の「て」「て」

おみこしの飾りは、ぶら下がる物にしようと思った時に、みんなが大好きな絵本「かんかんかん」の中で白い手が「ないないば」する場面が特にお気に入りだったので“手”を作ってみようと思いつきました。

素敵な手にしようとクリアファイルで作ってみました。クリアファイルに子どもたちの手を置いてクレヨンで手形をとってみると、初めての体験に少し不安そうに手をゆっくり広げ、手形を取らせてくれました。早速、手形を切って部屋に飾ると、時々見上げる子どもたち。

6月にオタマジャクシの手形を使った作品はお家の人に見て！と伝えていたので嬉しかったんだなあと担任で話したこ



「てえて」 2個目の手形とり

とがありました。

子どもたちが「嬉しい!」「自分のもの!」って思ってもらえるにはどうするか話し合いました。

クレヨンが大好きな子どもたちだから、クレヨン画がいいかなと話さず、直接小さな手形にクレヨンは難しいかなあ。紙に描いてそれを貼ってみようかとも考えました。でも、せっかくのクリアファイルの透明感が素敵だからと、クレヨンで直接描いてみよう!と描いてみることにしました。

すると、子どもたちは、丁寧に優しくいろいろな色を使って縦線を描いたり、力強く色を塗るように描く子、指に往復線を描いて指輪みたいな線を描く子もいました。

子どもってすごいなあ、無理だと決めつ

けずにやってみてよかったと話しました。

おみこしに飾りに行くと、ずっと持っていたくて泣けてしまう子がいるほど愛着が湧く作品になりました。

おみこしを見に行くと「て」「て」と嬉しそうに指さして見えています。

その後、クレヨン画をやってみたら、何人も自分の手を紙において手形を描いてみようとするにも驚きました。

七夕飾りで、シール貼りをして製作をした時に難しかったこともあって自分のものと思えずにいた反省を活かしたなあと思いました。

子ども自身がやった!楽しかった!と感じる製作を子どもたちと作っていくことの大事さ楽しさを感じました。



おしゃべり♪あのね

- ◎おむつが濡れていないのでトイレに行く
と
Aちゃん(2歳10ヵ月)“今がチャンス”
とトイレにいき「おしっこでた」と元気に報告。
- ◎おばけトンネル(地下道)のドアをノックするA君(3歳10ヵ月)「かっこいいおばけだったらどうするの?」
- ◎夕焼け雲を見て
Mちゃん(4歳0ヵ月)「綿あめ、いちごだ!」
- ◎山に雨上がりの霧のガスがかかっているのを見て
Mちゃん(4歳)「山から煙が出ているね」

- ◎秋祭りのおみこしがなかなかでてこない
ので待っている時に「ワッショイ!」と聞こえると
A君(3歳10ヵ月)「じけんかと思ったよ」
- ◎庭でイワシ雲を見つけた
S君(3歳)「見てー、かいだん。S君もの
ぼりたい」
- ◎夕方、ケースで飼っていたコオロギが鳴き始めて
保育士「鳴いてるね」
S君(2歳4ヵ月)にいうと
目に手を当てて泣いていることを教えて
くれました。



北方公園散策出発

夏に、大きいクラスが皆で集まって『ジャブジャブ音頭』を賑やかに踊っていました。そこへつくしさんも行って見た時の事です。始めはじっと見ていたのですが、KちゃんSちゃんは次第

「あすなる保育園をつくる会」の活動に関わった思い出話 (5)

(元保護者 高森町)木村 典雄

1990年10月号

11月着工に向け、準備進む

○建設地の農地転用許可もあり、いよいよ着工の運びとなりました。

○飯田市、上郷町、高森町の9月議会に陳情者を提出しましたが、今回もすべて継続審議となりました。12月議会へ向けての取り組みを強化することが確認されました。自治体の理解を得ることは補助金のことはもちろんですが、今後の新たな保育園運営にとっても重要な課題ということで、何とか陳情に賛成してもらえるように知恵を絞る必要がありました。

○以前から要求があり、検討されてきた「夜間保育受け入れ」が「10時まで」ということで開始されました。

○中日新聞に「飯田・北方に建設用地見つかる」「資金カンパ呼びかけ」の記事も載り、着工までに1,500万円(あと400万円)の中間目標が提示されました。活動が少し足踏み状態だったので、動きに拍車をかける必要を確認したようです。ここからが大変、という覚悟は持ったものの、どこにどうしたらいいのかと空元気を前面に出しながら踏ん張っていた頃だったと思います。

1990年11月号

飯田市ほか周辺町村に補助金などの働きかけ

○飯田市へ

社会課長との懇談をし、無認可保育園であるがためのハードルの高さを痛感しましたが、これまでの実績や夜間保育の開始などの貢献度も伝え、より多くの援助を申し入れました。

課長さんからは「市議会では何とか納得してもらえる方法を考えている」「あすなるが認

にみんなの近くに行き、少し手足を動かしました。そのうちKちゃんは、引き込まれるように輪の真ん中まで出て行き、踊るかっぱさんやひまわりさんのそばで真似っこするように回ったり体をくねらせたりして何ともいい顔で踊り出していました。

その頃、新しく入園したばかりのM君も、保育士に抱かれて部屋の入口から見ていました。静かにじっと皆を見ていて、そのうちに表情も少し柔らかくなったように見えました。みんなが楽しそうにしている雰囲気が心地よかったようです。

つくし組の部屋にいても、隣からジャブジャブ音頭が聞こえてくると、すぐに「じゃぶじゃぶ」と言って思い思いに踊り始めるようになり、催促する仕草も見

せるようになりました。かっぱ組さんが「アサガオちょうちん」を「おまつりだよ」とたくさん届けに来てくれたので、さっそく部屋に飾ると、みんな真上の提灯を見上げて嬉しそうでした。風に揺れると指さして教えてくれます。

秋祭りの当日は、大きいクラスのみん



牛乳パックで作ったジャングルジムに登ったりぐったり…

可に向けて本腰を入れて取り組みれば市としても協力するつもりがある」という趣旨の回答も得、心強く感じたものでした。

当時市民向けに「市長と語る会」が設定されてもいたので、父母と保母に前あすなる保育園園長であり当時飯田市議をされていた吉川昌子さんにも加わっていただき、短時間ではありましたが訴えをした覚えがあります。

私個人としては、このように自らの要求を行政や議会に対して直接要望する場に参加した経験がなかったので、とても良い経験になった記憶があります。自分の子どもの通う保育園の要望ではあるが、これは社会全体の保育環境を改善する運動なのだという自覚を高める場でもあったことを思い出します。○飯田市のほかにも、上郷町、高森町、松川町、阿智村、豊丘村、喬木村へ首長や議長あてに陳情書を提出する活動を行いました。

私は自分の居住する高森町の町長との懇談・陳情書提出に堀竹会長さんなどとも

に参加しました。

予想に反して、懇談のその場で町長さんから「では、高森町は100万円出します」と即答されたことは鮮明に覚えている場面です。どこの自治体よりも早く、私たちの要望通りの額が提示されたことは他の自治体への取り組みに大きな影響となりました。

○現代座公演「もくれんのうた」

鼎文化センターにおいて上記の公演が予定され、その実行委員会が組織されました。その実行委員会の名称が「あすなるともくれんの会」となり、全面的にあすなる保育園建設を後押ししていただける会を組織してもらえたのです。

園の保護者会からは私が代表として実行委員会に参加しました。公演は大成功をおさめ、実行委員会からは終了後「45万円」の寄付が寄せられました。実行委員会の皆さんはもちろん、現代座の皆さんにもご協力いただき、感謝感激でした。(次号へ続く)

なが担いで来てくれた“大きなおみこし”を“なんだろう”とじっと見ていました。かっぱ組さんが、お面屋さんになって部屋まで動物のお面を持ってきてくれる

とすぐにかぶり、ずっとかぶっていた子もいました。“みんなが楽しそう”が、だんだん“自分の楽しい”に変わっていきました。

虚空蔵山へ登ったよ

今年もかっぱ、ひまわり組が虚空蔵山へ山登り遠足に行ってきました。

かっぱ組は手裏剣探し、ひまわり組は山のお弁当をいながら楽しく行ってきました。

かっぱ組



手裏剣 見つけた!



にんじゃくんが隠した手裏剣みつけた!



トンネルみた〜い! やっほー!



給食室から

あすなろのクッキー

コロナ禍での秋祭り! 今までのようにみんなでカレーは食べられないので、クッキーのお土産を子ども達に配る事になりました。“とても美味しかったです”と感想も頂き、喜んでもらえてよかったです。

あすなろのクッキーはちょっと固めで甘さも控えめですが、みんなが好きなおやつの一つです♪ 歳末市でも人気メニューで、材料も作り方も簡単なので、ぜひご家庭で作ってみてはいかがでしょうか?

【材料】(30枚くらい)

- 小麦粉 150g
- バター 50g
- 卵 1個
- 砂糖 25ml

【作り方】

- 1、小麦粉はふるっておく。
- 2、ボールに常温におき柔らかくなったバターと砂糖を入よくかき混ぜたところに卵を加えさらによく混ぜる。
- 3、2に小麦粉を混ぜ、生地をまとめる。まとまったら、伸ばして、好きな形を作ったり、型抜きをする。
- 4、3を170℃で20分焼けば出来上がり!!



ケルン(無事に山に登れるよう願って積み上げる石)を見つけ「これなんだ?」「船みたい」「女の子みたい!」



山頂記念に頂上に奉納する絵馬は、かっぱ組の子どもたちが交代で背負って行きます。背負うと不思議とパワーが出るんです



ひまわり組

「ばあ〜!」お山で「かくれんぼ」



ジュースの木もあったよ



「木に何かぶら下がってる!」中身は口に



「蚕種(こだね)石」大きな石登りに入れたらと〜っても元気が出る物でした 挑戦!



下りはみんなですべり台

子ども達がのびのびと育つよう応援して下さい

あすなろ後援会にぜひご参加を!

主な活動

- ◎より多くの人にあすなろのことを知らせ、理解者を増やします。
- ◎より良い保育ができるよう職員、父母と一緒に、保育運動をすすめます。

会費

年間(4月~翌年3月まで) 1口...3000円 (何口でも) 通信費、活動費などに使います。

【振込み先】 飯田信用金庫切石支店 1520079 あすなろ後援会 佐々木俊之



RS ウイルス大流行

健和会病院小児科 和田 浩

今年、全国的に RS ウイルスの大流行がありました。地域によって流行時期のずれがあつて、飯田下伊那では 8 月初めから 9 月中旬位までがすごい流行でした。

しかしこれと並行してよく似た「熱と咳の長引く風邪」がやはり、「1 回治ったと思ったら 1-2 週間後にまた同じような症状が出た」という子も非常に多かったです。これは「パラインフルエンザウイルス」ではないかと言われます。

RS ウイルスは、大人や大きい子どもがかかるとたいていはただの風邪ですが、2 歳以下くらいの子がかかると気管支炎をおこしやすいのです。

気管支炎になっても、ほとんどは自力で自然に治っていくのですが、中には酸素が

十分吸えなくなつて、入院が必要になる子もいます。

一番怖いのは、生後 2~3 か月くらいまでの小さい赤ちゃんがかかると気管支炎が重くなりやすいという点です。お兄ちゃんお姉ちゃんが保育園でかかってきて、赤ちゃんにうつるということがけっこうあります。

昨年は RS をふくめ子どもの様々な病気の流行がほとんどありませんでした。今年の RS の大流行は、昨年はやらなかったために免疫のない子が多くなっていたという影響があるのだらうと思います。他のウイルスではどうなるか、まだ予測がつかないことが多いのですが、例年とは異なる流行のしかたが今後もあるのかもしれない。

あすなろの予定

11月5日(金) 焼き芋大会



昨年に続き

コロナウイルス感染拡大防止のため

あすなろたいまつ市



中止とします

編集 後記

◆今年も歳末市はできません。楽しみにしていた方や、商品用の品物など準備して下さっていた方にはごめんなさい。2 年間の空白ができるのと来年は歳末市を経験した現役の親たちが少ない中での開催。これまでの思いが途切れることが無いように、そして新しい歳末市をつくりあげるつもりで心してかからなくちゃ。㊦

◆稲刈りの季節になり、我が家もじいじのコ

ンバインで稲刈りです。息子もコンバインに乗せてもらいご満悦！新米のおにぎり背負ってお山に登っておいで！がんばれー！㊦

◆先日運動会が行われました。あすなろの運動会と照らし合わせ、毎年成長していることを感じられることを幸せだと思いました。親になれてる気がします。ありがとう。㊦

◆あつという間に秋。今年は、どんぐりは豊作みたい。まんまるのどんぐりを拾ってきて、すべり台からころがしてあそぶこどもたち「どんぐりころころしてるのー♪」秋をたのしんでいます。㊦

◆メダカが順調に育っていましたが過保護飼育をしてしまい、みんななくなりました。淋しいなー、メダカやっぱり飼おうかなと話していたら、息子がイモリを友だちからもらってきました。黒いイモリ…。ちゃんと飼い方を勉強して大事に育てたいけど難しいみたいです。冬、越せるかな。㊦

次号は2月1日発行予定です。いろいろ情報や原稿、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。